



環境を守り、次世代へと受け継いでいくための取組み

地球環境の変化が大きな社会的課題となるなか、次世代に美しい環境を受け継いでいくためには、責任ある企業として自らの事業が環境に与える影響を軽減する努力を続けていかなければなりません。アクサ ジャパンは、環境を守り、育てていくために、次のような活動を行なっています。

法令への対応

アクサ ジャパンでは、経済産業省の「エネルギーの使用の合理化に関する法律」や、東京都により定められている温室効果ガスの削減に対応するため、全社一丸となってエネルギーの削減に努めています。

省エネルギーへの取組み

全社員を対象に、省エネルギーの注意喚起（PCモニターや電灯のスイッチ off、エアコンの温度調整、プリントアウトの極小化）を行なうと同時に、エアコンの運行時間と温度の調整、全社一斉消灯（ランチタイム消灯、21時前消灯）などを行なっています。また紙や電力使用の削減のため、FAX、プリンター、コピー機の機能を併せ持つ複合機の導入や、ライト数を調整することで、視力の保護と省エネルギーの両立を図っています。

CO₂削減への取組み

出張や社員の移動に伴うCO₂の排出削減のため、オンラインで会議が行なえるバーチャル会議室や音声通話システムの利用を推進しています。



サプライヤー：SUPPLIERS



購買行動を通じて「持続可能な開発」を広めるための取組み

私たちのビジネスは、多くのお取引先企業に支えられています。アクサ ジャパンは、一企業として責任ある行動をとるのみならず、お取引先企業と良好な関係を築き、購買に関わるポリシーを共有することによって、持続可能な開発の輪を広げていく活動に取り組んでいます。

プロキュアメント・サステイナブル・デベロップメント・スタンダード

持続可能な開発（Sustainable Development）とは、「将来世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在の世代のニーズを満たすような社会をつくる」こと。アクサ ジャパンでは、取引企業を選定する際に一定の基準を設け、持続可能な社会の実現に向けた活動の輪を広げる活動に取り組んでいます。

たとえば、持続可能な開発についての基準の一環として、AXAはサプライヤーに次の3つのことをお願いしています。

- 15歳未満の児童による労働または強制労働を、自自行なわず、自らのサプライヤーまたは再委託先にも行なわせないこと。
- 従業員に安全かつ衛生的な職場環境を保証し、従業員ひとりひとりの自由とアソシエーションの自由を尊重すること。
- 従業員の採用と管理において性別、人種、宗教または政治的な信条による差別の撤廃を促進すること。

購買活動に関する倫理ガイドライン

アクサ ジャパンでは、購買活動に関する倫理ガイドラインを設け、取引の公平性、中立性、透明性を確保することで、サプライヤーとの良好な関係維持に注力しています。